

①マーキュリーは分析が甘かったと後悔した……

この淫獣の攻撃方法に「掴み攻撃」がある事を見逃していた。
淫獣はマーキュリーを押し倒そうと掴みかかった！

②何とか押し倒されまいと抵抗して見せるが
両腕がふさがってしまった不利を悟った

③淫獣の触口がマーキュリーの口に侵入し

麻痺液を強引に嚙下させる

効果はすぐ現れ太ももが震えだす……



①麻痺液が全身に回り地面に押し倒される



②好機を逃さず勃起させていた淫獣の性器を
マーキュリーの女性器へと近づける



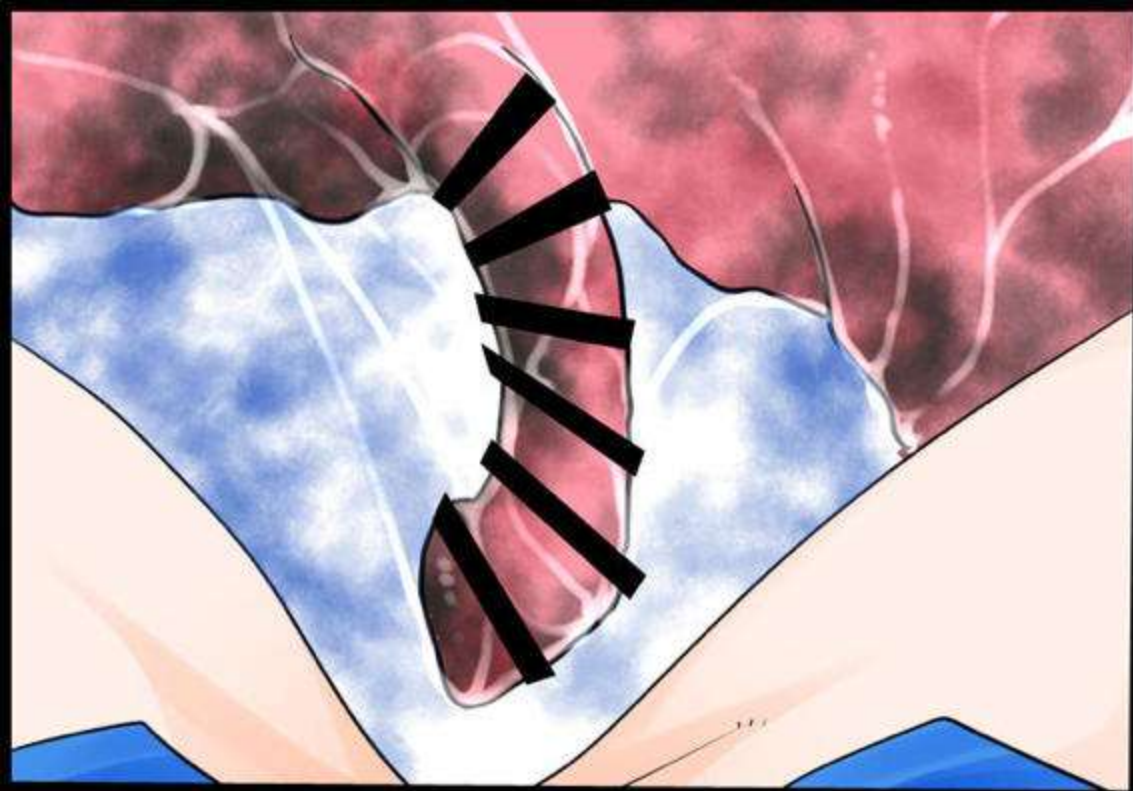
③少女を犯す欲びに猛る肉棒は粘液で濡れているが
女性器の方は戦闘の緊張と恐怖で委縮し湿り気など
帯びてはいなかった……

④愛する人との秘め事ではなく直前まで
戦っていた敵が相手なのだから当然である
それも女性を強姦してきた事で悪名が轟く淫獣
何としても倒したかった敵の毒牙に自分も
被害者の一人として屈してしまったのである



⑤マーキュリーは秘部に異物が
侵入してくる鈍痛に絶望し悲鳴を上げた
しかしまだこれは凌辱の始まりに過ぎない

2話に続く……



ガクッ

ガクッ

①戦闘に敗れ押し倒されたセーラーマーキュリーは淫獣に強姦されていた。少女の股は淫獣の腰幅いっぱいにかかされ足先は突かれる度にガクガク揺れていた。

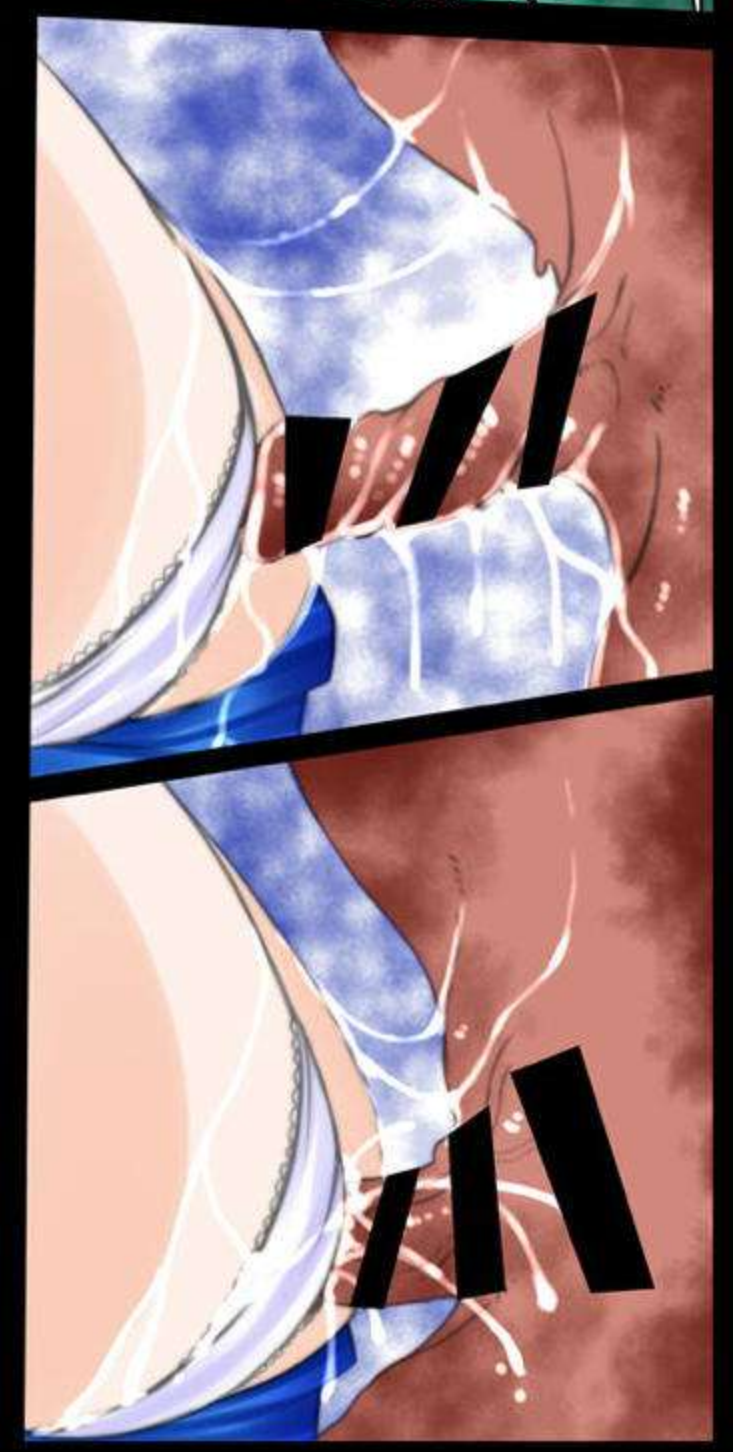
②麻痺性の唾液を飲ませ両腕を地面に押さえつけて抵抗できない少女を欲望の限り犯す。

③命がけの戦闘後の淫獣は

子孫を残す生存本能からか生殖機能が向上し精力が昂るのである淫獣が倒した少女を犯すのは敗北の絶望を少女に叩きつける為だけではない。

④マーキュリーの膣内に精液が溢れてもなお性欲が尽きない限り射精し続ける淫獣……

⑤飲まされ続ける麻痺性の唾液には媚薬成分が含まれ次第に力が抜けてゆくマーキュリー……それは無自覚に強姦される事を拒む気持ち弱まってされるがままに犯される事を望んできている証拠である



①膣を突かれる度に全身に走る痺れるような感覚に身をよじらせるマーキュリー。身体が熱を帯び乳首が衣装の上からでも勃っているのがわかるくらい固くなっていた。

③セーラー戦士であっても媚毒に汚染されればもはや淫獣の傀儡である。淫獣に抵抗できなくなった彼女は他のセーラー戦士が助けに来るのを祈るしかなかった……

淫獣は更なる快楽をマーキュリーの身体を使って貪ろうと体位を変え座位に移行する。

②淫獣に腰を支えられ膣の奥まで性器を挿入される……最奥の秘部に当たる度に少女の膣口は淫獣の生殖器を締め付け精液を絞り出そうとする……意識では拒んでも身体は発情していた。

④少女は悲鳴を上げながら思った……助けが来るまでに、突かれる度に生まれる快楽の感情に負けず自我を保っていられるだろうか？悲鳴ではなく嬌声を上げていないだろうか……



①淫獣は掌に収まるサイズのセーラーマーキュリーのお尻を掴み執拗に性器を挿れては出す……この行為を繰り返していた。もはやセックスなどという行為とは呼べないその「凌辱」をセーラー戦士の少女は力無く淫獣の胸に体を預け受け入れていた。



突かれる度に吐息と共に少女は小さな声を漏らすばかりである。

②淫獣は少女の汗や愛液、唾液などの匂いに敏感なのである。犯され汗ばむほどに他の淫獣を呼び寄せてしまうのである。もはや媚毒と執拗に繰り返されるピストン運動に少女は発汗し愛液は分泌され緩んだ回からは涎が滴っていた……



ジュブツ……ズブブ

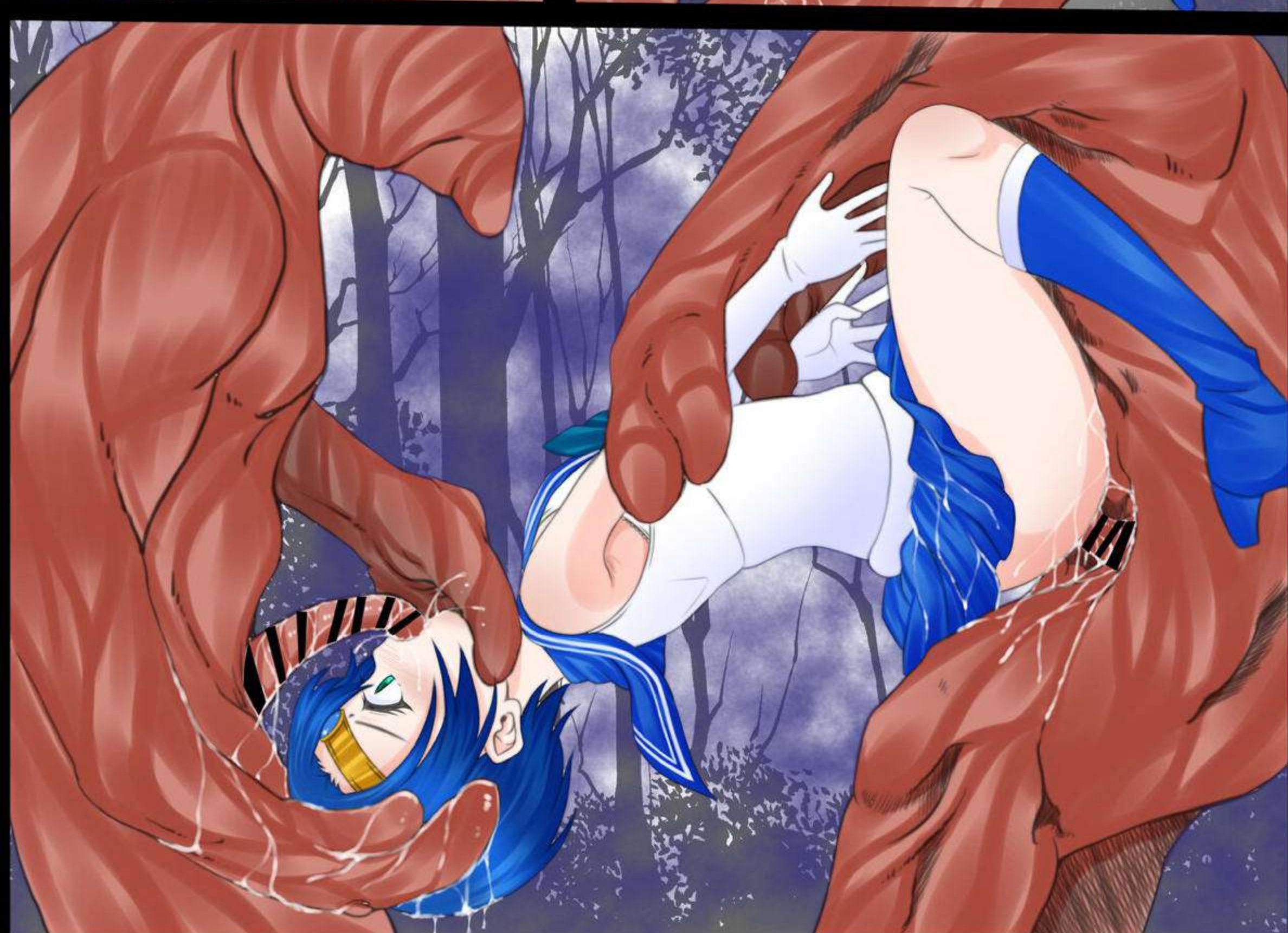
③別のムラムラした淫獣も少女の身体を犯しだす少女の体は大きく反らされ膣の締りが良くなり淫獣はまた膣内に中出しした……



呼応する様に膣口がぴくんと震えた……そんな少女の身体の愛らしい反応に淫獣は更に加虐心を昂らせる

④セーラーマーキュリーの細い首と顎を掴み頭部を押さえた。驚きと荒れた呼吸の為に大きく開いた口に快樂を得ようと性器を強引にねじ込む淫獣……既に粘度のある状態の口腔内を別の淫獣が更に喉の奥まで蹂躞する。





①セーラー戦士と言えど元は水野亜美という只の女学生……淫獣に敗れた末路がこれほど過酷だと思ったのだろうか？
学業において天才と称されていた頭脳でも自身の身体でここまで性欲を発散する為に酷使されるとは
思わなかっただろう

②彼女の失策は自分の身体にどれほど性的価値、他人を欲情させているかを認識していなかった事である。
彼女の知的で上品で優しい姿を見せられたとれだけの男共が「水野亜美を強姦したい」と思っているか知らなさ過ぎたのだ。

③セーラー戦士を強姦出来るのは珍しいので
華奢な少女の身体を取り合いになりつつも
2体の淫獣は1人の少女を貪る……

口からも膣からも精液を注がれ少女の
肉体は汚れ堕ちた……
戦士としての精神も時間の問題だろう。
淫獣は心を壊す為、少女を丸呑みしようと思っ
た……



①淫獣は頭部を大きく開きセーラーマーキュリーを丸呑みしようとする……
激しく強姦された身体に抵抗する力は無かった



②小さな悲鳴を上げるマーキュリーの頭部を淫獣がひとくちでかぶりつく。
身をくねらせもがこうとするが抱き締められ動きを拘束されてしまう



んっ……ぐ

③マーキュリーの頭部を口内に納め唾液を浴びせる……
気化した媚毒を肺がいつぱいになるまで吸わせ、唾液で溺れさせる
中出しされた精液と失禁による尿が白い太ももに伝い滴る

ジブブツ
ジュル!

んん……
ッ……!

④しだいに少女の身体がピクピク痙攣しだしたら血中の媚毒成分が全身に行き渡りつつある頃合いである。





①動かなくなったセーラーマーキュリーを淫獣は丸呑みにする
人々を守る為、淫獣に戦いを挑み返り討ちにされ
輪姦された拳句の末路である……



②淫獣の体内は吸い付くような感触の肉の突起が無数にあり
全身にまとわりつく



「じゅんじゅん……
じゅんじゅん……」

③淫獣の肉壁に埋もれてから急激に力が抜けてゆくマーキュリー
肉の突起はセーラー戦士としての力、エナジーを吸い取っているのである



①敗北したセーラー戦士が汗と精液で濡れたお尻を晒しながら丸呑みされてゆく……仲間が救出に来る……。なんて30分アニメの様な希望は最後まで訪れなかった。



いっへん

②仲間想いの優しく頭脳明晰なセーラー戦士
セーラーマーキユリー

彼女がもうセーラー戦士として戦う事は無い。



③淫獣の体内で幼体を孕み出産し続け生きるのである。

彼女の優秀な遺伝子を淫獣の子孫繁栄に役立てる……

将来の夢である医者にはなれないが立派な苗床になるのであった。



終

